

様式1

教科用図書第3採択地区調査委員会

書写小委員会委員長

米 谷 優



調査研究・審議の経過	1 審議の対象となった発行者名及び数 ・東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書の4者 2 調査研究の手順 ・第1回調査委員会（7月9日）で4者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第2回調査委員会（8月7日、8日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式1について整理するとともに、全体を通じて各者の特徴をまとめ、様式2～6を作成した。 3 調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については、硬筆、毛筆、硬筆と毛筆の関連についてどのような学習活動を取り上げているか、主体的・対話的で深い学びの表現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか、という視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列等については系統的、発展的に組織されているか、という視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されているか、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか、という視点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	1 東京書籍については、「お礼状」や「防災パンフレット」の書き方など国語科や他教科と関連を図った教材を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり、優れている。 三省堂については、「グループ新聞」や「情報誌」の書き方など国語科や他教科と関連を図った教材を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり、優れている。 教育出版については、「お薦めの本の帯」や「新聞」の書き方など国語科や他教科と関連を図った教材を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり、優れている。 光村図書については、「情報をまとめたノート」や「ポップ」の書き方など国語科や他教科と関連を図った教材を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされているという特色があり、優れている。 2 このほか、4者ともワークブックの内容や取り扱い方法の工夫について話題も出されていた。



書写の目標について
【教科の目標】 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
【学年・分野・領域等の目標など】 〔知識及び技能〕の「(3) 我が国の言語文化に関する事項」のうち、書写に関する事項 〔第1学年〕 (ア) 字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと。 (イ) 漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと。 〔第2学年〕 (ア) 漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと。 (イ) 目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 〔第3学年〕 (ア) 身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと。

【参考】

○ 目標の改善

国語科で育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」と規定するとともに、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。また、このような資質・能力を育成するためには、生徒が「言葉による見方・考え方」を働かせることが必要であることを示している。

学年の目標についても、従前、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の領域ごとに示していた目標を、教科の目標と同様に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。

○ 標準授業時数

書写の指導に配当する授業時数は、第1学年及び第2学年では年間 20 単位時間程度、第3学年では年間 10 単位時間程度とすること。

様式3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	2・東書	第1・2・3学年	書写・002-72	新編 新しい書写 一・二・三年
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）、内容の構成・排列	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 字形と配列を整える書き方を確かめて書いたり、話を聞きながらメモを取るときに気を付けることを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 行書の様々な書き方を漢字表などで調べて書いたり、楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要かを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ 国語科で学習する文学作品などの一説を書いたり、身の回りの文字の目的とそれに応じた工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の連続について、形の特徴などに気を付けて書いたり、楷書と比べながら点画の方向や形の変化を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、楷書と比べながら行書に調和する仮名の特徴を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 自分で選んだ言葉を書き初めて書いたり、伝えたい思いを効果的に表現するための工夫を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の書き方と字形の整え方、文字の大きさと配列など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「思いを文字で表そう」において、卒業に向けた作品を筆記具や文字の大きさを工夫して書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、仮名を整えて書くために気を付けることを考えたり、仮名の書き方と字形の特徴について理解したことを自分の書いた文字で振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、行書と仮名の調和について考えたり、どのように行書と仮名が調和しているのかを筆圧の変化、筆脈の用語を使って説明したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書写のかぎ」を参考にして、現代につながる文字の役割について考えたり、文字が果たしてきた役割や現代とのつながりについて話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書について、点画の書き方と字形の整え方を確かめた後に、仮名の書き			

	方と字形の特徴を理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について、点画の省略や形の特徴などを確かめた後に、行書と仮名の調和について理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 手書き文字の特徴を確かめた後に、ノートの効果的な書き方について理解したことを話し合う活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ お礼状や防災パンフレットの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1,2学年）や、文字の歴史や使われ方など、文字文化についてのコラム（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 様々な書式とそれらを生かす場面について学ぶ題材「生活に広げよう」（全学年）や、学校生活だけではなく生涯にわたって社会生活の中で使用される様々な書式について学べる「書写活用ブック」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 振り仮名などの小さい文字でも読みやすいカラーユニバーサルデザインフォントを使用したり、全ての生徒の色覚特性に適応するようなデザインにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	15・三省堂	第1・2・3学年	書写・015-72	現代の書写一・二・三
取 扱 内 容 （学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 ） 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の組み立てに気を付けて書いたり、紙面全体における記事などの配置を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化に気を付けて書いたり、目的や必要に応じて楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ これまで学んだことを生かして身のまわりの文字を書いたり、身のまわりの生活の中から印象に残った文字の工夫や効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画や筆脈の連続に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画の形や方向の変化がどこに表れているかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、楷書に調和する仮名と比べて形の違いがどこに表れているかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 中学校生活の中で出会ったお気に入りの言葉を書いたり、文字の大きさや書く位置、書体などを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 文字の大きさと配列、点画の形や方向の変化など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「名言集を作ろう」において、紙の大きさ・色・素材、筆記具などを決めて書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、楷書と比べて点画の丸みがどこにあるかを考えたり、点画の丸みを理解して書くことができたかを振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「書き方を学ぼう」を参考にして、楷書と比べて筆順がどのように変化しているかを考えたり、筆順の変化を理解して書くことができたかを振り返ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会で活躍する手書き文字の達人の紹介を参考にして、効果的に文字を書くことについて考えたり、文字の魅力はどのようなところかを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書について、字形の整え方と筆使いを確かめた後に、仮名の字形と筆使			

	いを確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について、点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書と仮名の調和を意識して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 手書き文字や活字の特徴を確かめた後に、効果的に文字を書くことの必要性について考える活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ グループ新聞や地域の魅力をまとめた情報誌の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1,2学年）や、文字を手書きすることの意義を見つめ直す教材（第1,3学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 学習した内容を他教材や他教科・社会生活で活用できるようにした教材「やってみよう」（全学年）や、日常生活・社会生活の中で必要となる書式を確認したり、伝統文化に親しむ資料にふれたりすることができるよう「資料編」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 学習上重要な項目は大きな文字や目立つフォントで示したり、色覚の特性を考慮して、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	17・教出	第1・2・3学年	書写・017-72	中学書写
取 扱 内 容 （学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 ） 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 字形の整え方と筆順のきまりを確かめて書いたり、ノートを読みやすく速く書くためにはどうしたらよいかを考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 行書の部分の書き方を確認して書いたり、行書と仮名の調和のさせ方と速く書きやすくするための工夫を考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ 行書と仮名の調和や配列を確かめて書いたり、身のまわりで見かける文字の表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の連続と形の変化に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画の連続や形が変化している部分はどこかを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、漢字と仮名の大きさ、配列を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 点画の連続と配列に気を付けて書いたり、城跡の文字の書体による表現効果を考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動 ○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の筆使いと字形、楷書に調和する仮名の筆使いなど、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書に調和する仮名の書き方など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「三年間の学習の成果を生かそう」において、書体や筆記具などを工夫して中学校の魅力が伝わるリーフレットを書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、楷書と仮名を調和させるための書き方を考えたり、漢字と仮名の大きさ、文字の中心、字間、余白について話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、漢字の行書の連続、省略、変化と仮名の調和を考えたり、行書と仮名の調和や配列に気を付けて硬筆で書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「考えよう」を参考にして、自分で取材した文字や教科書の写真の文字について印象や表現効果を考えたり、考えた内容を取材レポートにまとめ発表したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 楷書の点画の筆使いと字形を確かめた後に、楷書に調和する仮名の筆使い			

	を理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書の点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書に調和する仮名の筆使いを理解して書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 行書と仮名の調和について、漢字と仮名の大きさ、配列を確かめた後に、俳句を小筆または、筆ペンで書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ お薦めの本の帯や新聞の書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1,2学年）や、身のまわりで見られる書などの味わい深さを実感できるコラム（全学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 他教科や日常生活に活用できるよう関連を図った教材「学習を生かして書く」（全学年）や、中学校生活や社会生活に必要な手紙、封筒、一筆箋、年賀状、はがきなどの書き方を取り扱った「書式の教室」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用したり、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインにしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		38・光村	第1・2・3学年	書写・038-72	中学書写一・二・三年
取 扱 内 容 （学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 ） 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 硬筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 文字の外形や中心に気を付けて書いたり、終筆の方向と形の変化を考えたりする活動を通して、字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して楷書で書く活動 第2学年～ 点画の省略に気を付けて書いたり、場面に応じた楷書と行書の使い分けを考えたりする活動を通して、目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書く活動 第3学年～ 書写の学びを生かしながらポスターや看板を書いたり、手書き文字のよさを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動				
	○ 毛筆については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 点画の変化に気を付けて書いたり、楷書と比べて点画が変化しているところを考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書く活動 第2学年～ 筆順の変化を理解して書いたり、行書と仮名の調和を考えて書いたりする活動を通して、漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書く活動 第3学年～ 三年間で学習したことを振り返り、自分の課題を確かめて書いたり、未来の自分をイメージして自分の名前をどのように書くかを考えたりする活動を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く活動				
	○ 硬筆と毛筆の関連については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 漢字を構成する点画の種類と筆使い、点画の変化や連続など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第2学年～ 点画の省略や筆順の変化、行書と仮名の調和など、毛筆で学んだことを生かして硬筆で書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動 第3学年～ これまでの毛筆の学習を生かし、「防災フェスタを開こう」において、テーマを決め、集めた情報をもとにポスターや看板などを書く活動を通して、硬筆による書写の能力の基礎を身に付ける活動				
	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学びのカギ」を参考にして、楷書と行書を比べて点画がどのように変化しているかを考えたり、点画の変化について学習したことを生かして硬筆で書いたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第2学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学びのカギ」を参考にして、楷書と行書を比べて点画が省略されているところを考えたり、点画が省略される理由を話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3学年～ 「目標」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、「学習の進め方」を参考にして、身の回りには、どのような文字があるかを考えたり、文字から受ける印象や、気付いたことを話し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				
	○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～ 漢字を構成する点画の種類と筆使いを確かめた後に、楷書に調和する仮名				

	の筆使いや字形を確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第2学年～ 行書について、点画の省略や筆順の変化などを確かめた後に、行書に調和する仮名の特徴を確かめて書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 第3学年～ 身の回りには様々な文字があることを確かめた後に、文字の使い分けや効果について気付いたことを書く活動を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 集めた情報をまとめたノートやポップの書き方など、国語や他教科における学習と関連を図った教材（第1,2学年）や、文字や文字文化への理解・関心を高める教材（第2,3学年）を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 書写で身に付けた力を日常生活に生かせるよう国語や他教科等で活用できる教材（全学年）や手紙やはがき、原稿用紙、通信文等の書式を整理して示した「日常で役立つ書式」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 読みやすさを考慮して独自に開発したオリジナルの教科書体を使用したり、複数の色を組み合わせるときには、色覚の多様性に配慮し、誰もが識別できる配色を採用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 4

＜書写の具体的な調査項目＞

◎調査項目

- ① それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と総ページ数
- ② 硬筆と毛筆の関連を図った教材数
- ③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている箇所数

◎調査項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 毛筆を使用する書写の指導においては、硬筆による書写の能力の基礎を養うよう配慮することが求められていることから、硬筆と毛筆の関連を図った教材について把握する必要があるため。
- ③ 生徒の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある資料等の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 6 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者				東書				三省堂				教出				光村(※2)			
			1	2	3	資料 等	1	2	3	資料 等	1	2	3	資料 等	1	2	3	資料 等				
①	それぞれの指導事項 における硬筆と毛筆 の教材数と総ページ 数	硬 筆	指導事項ア	9	10	7	-	5	4	3	-	21	8	5	-	8	9	12	-			
			指導事項イ	8	6	-	-	4	3	-	-	18	8	-	-	6	4	-	-			
		毛 筆	指導事項ア	8	9	4	-	7	8	2	-	16	10	6	-	6	6	7	-			
			指導事項イ	7	4	-	-	7	2	-	-	19	7	-	-	4	1	-	-			
		総ページ数		146 (※1)				122				146				166						
		前回の総ページ数		146				130				146				158						
		増減 (%)		0%				-6%				0%				5%						
②	硬筆と毛筆の関連を図った教材数(※3)			7	7	1	-	5	3	1	-	6	4	3	-	4	5	2	-			
③	北海道とかかわりのある内容と取り上げ ている箇所数			7	0	0	1	0	1	0	0	4	0	1	3	0	1	4	2			

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

(※ 1) 東書の「総ページ数」については、「書写活用ブック」を含む。

(※ 2) 光村の「それぞれの指導事項における硬筆と毛筆の教材数と総ページ数」については、「別冊 書写ブック」を含む。

(※ 3) 調査項目②「硬筆と毛筆の関連を図った教材数」は、毛筆の学習の後、硬筆によるなぞり書きや書き込み欄が位置付けられている教材や、毛筆や硬筆による筆記用具を選んで書く教材を対象とする。



様式 6

様式 5 の調査項目③「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者 姓		教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書 年	1	手書き文字と活字（P16）	写真	「北海道庁」の石碑
			写真	「北海道コーンクリームスープ」のパッケージ
			写真	「北海道」の雑誌
			文章	「北海道」の手書き文字
			文章	「北海道」の活字
			文章	「北海道」の活字をまねた手書き文字
			文章	「北海道」の記述（キャラクターの吹き出し）
資 料 等		書写活用ブック（P5）	文章	「北海道」の記述（都道府県漢字）
三 省 堂	2	書いて身につけよう（P52）	文章	「北海道」の記述（四十七都道府県名）
教 出 年	1	目的に合わせて書こう（P①） 行書学習のはじめに（P39）	写真	「有珠山」の記述（ポスターセッション）
			写真	「神居古潭」の石碑
			写真	「釧路湿原駅」の看板
			写真	「登別地獄谷」の看板
	3	多様な表現による文字（P102）	写真	「五稜郭跡」の石碑
	資 料	書式の教室（P111）	文章	「北海道」の記述（都道府県名一覧表）
		書式の教室（P114）	文章	「札幌市中央区北2条西31-5-9」の記述（小包伝票のお届け先）
		書写テストで確認（P117）	文章	「石狩市花川北九条五丁目二-」の記述（はがきの表書きの差出人）
光 村	2	行書を活用しよう（P80）	写真	「カムイ・ユーカーラ」のポップ（生徒作品）
	3	全国文字マップ（P90）	文章	「北海道」の記述（マークの一部）
		全国文字マップ（P91）	写真	「BOYS BE AMBITIOUS」の碑文
		全国文字マップ（P91）	文章	「HOKKAIDO」の記述
		防災フェスタを開こう（P99）	文章	「北海道むかわ町」の記述
	資 料 等	書写ブック 都道府県名を練習しよう（P24）	文章	「北海道」の記述（都道府県名を練習しよう）
		送り状の書き方（P113）	文章	「北海道」の記述（都道府県行書一覧）

